

鳥取県・現地体験概要

1. 活動テーマと活動概要

『岸本辰雄初代校長の出身地・鳥取の観光大使になろう』

鳥取県の交流人口拡大に資する活動として、参加者が現地での体験や取材の成果を活かし、首都圏の若者の視点から鳥取の魅力をPRする観光リーフレットの作成を目標に活動しました。

また、本プログラム初の試みとして、2か年計画で活動に取り組むことを予定しており、2020年度は明治大学の学生を対象にした鳥取ツアーを企画・催行することになっています。

2. 現地体験スケジュール

鳥取市を中心に県内全域をフィールドとして、首都圏で発信したい情報の収集やツアー企画のための取材を行いました。また、滞在中には、鳥取環境大学の学生（もちがせ週末住人）が中心になって経営する用瀬町のゲストハウスを活動拠点とする日程を設け、同校の学生や地域住民との交流とともに、同町の地域づくりに関して意見交換を行う時間を設けました。

8月18日（日）集合、明治大学鳥取県校友会との交流会
宿泊（翌日朝からの活動のため）

8月19日（月）市役所訪問、郷土史レクチャー、もちがせ週末住人（鳥取環境大学
学生等）とのワークショップ及び交流

8月20日（火）鳥取砂丘、倉吉、米子視察

8月21日（水）境港、大山視察、もちがせ週末住人とのワークショップ

8月22日（木）岩美でのカヤック体験、白兔神社視察、
活動報告に向けたグループワーク

8月23日（金）県庁での活動報告・解散



岸本辰雄胸像前の記念撮影と市役所訪問



クリアカヤック体験と鳥取砂丘訪問



鳥取市内散策



用瀬町での交流



県庁での活動報告

3. 活動内容の情報発信について

鳥取県での活動の特徴の一つとして、現地滞在中に感じたこと、発見したこと、出会った人との交流を中心にTwitterで発信しました。2017年度から継続して取り組んでおり、活動内容のアーカイブの機能も担っています。

ふるさと活動隊 鳥取 Twitter

検索

